

QUARTERLY
MAGAZINE
HAKONE
HOSPITAL

2016
SPRING
January

Vol.
01



独立行政法人国立病院機構
箱根病院

〒250-0032 小田原市風祭 412
TEL:0465-22-3196 FAX:0465-23-1167

新春 創刊号

いのち輝く、癒しの病院

そこにいと、ほっと心が安らぐ

嬉しい時はともに喜び
辛い時にはともに立ち向かう
真剣に取り組んでいる時には影でサポートし
悩んでいる時にはそっと手を差し伸べる...

患者さんも職員も箱根病院で過ごす全ての人が
そんなあたたかい思いやりでつながる家族のような病院

箱根病院で過ごすことで自然と心がやすらぎ
その人の良い面が引き出され
ひとりひとりが輝く場でありたい

箱根病院にはそんな理想があります
「いのち輝く、癒しの病院」

理想の病院を目指す箱根病院の旅を
みなさまと共有しながら
その一步一步を楽しみながら
歩みを進めていきたい



QUARTERLY
MAGAZINE
HAKONE
HOSPITAL

2016
SPRING
January

Vol.
01

Contents

- 1, THE SCENE 02
 - 2, PEOPLE 箱根病院を支える人々 08
 - 3, HIT 10
 - 4, 箱根病院 NEWS 11
 - 5, 院長からの言葉 12
-



The Scene

日々の生活は一つひとつのシーンの積み重ねです。
人のやさしさを感じたり、植物に癒されたり、
何かに挑戦してみたり
素敵なシーンに溢れている日常こそ、
理想の病院の姿だと思っています。
箱根病院で日々生まれる
「いのち輝く、癒しの病院」らしい
シーンを覗いてみました。

The Scene — N°01 N°02 N°03

The Scene
N°01

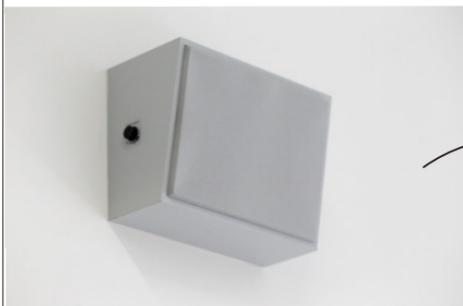
流れる音楽にほっと一息
頭を切り替える



音楽がつくる時間のメリハリと癒しのひととき

気持ちの良いひとときを演出してくれる音楽。「音楽は即座の魔力を秘めておりそれだけで、動揺する気持ちを和らげ、悩む心を静めてくれる」ウィリアム・コングリーブ(英国劇作家)の言葉にもあるように、音楽は気持ちを切り替えたり、悲しみや和らげてくれたり、豊かな生活づくりには切っても切り離せない存在。
最近、箱根病院では朝と夕方、面会終了の時間に、ボサノバやディズニー・ミュージック

等の美しい音色が病棟に流れます。病院で毎日を過ごす患者さんや、長時間働く職員に向けて、少しでも癒しのひとときを届けたいという思いから「病棟に音楽を流すプロジェクト」をスタッフ自ら企画し導入した取り組みです。導入後、患者さんから曲のリクエストをもらったり、「時間にメリハリがついていい」という感想を頂く等、評判は上々です。



病棟に音楽を流すといっても、様々な人たちが集う病院という場。企画が軌道にのるまでには沢山の壁がありました。仕掛け人の一人である加藤理学療法士に聞きました。

病棟に音楽を流すにあたりどんなことに苦労しましたか？

「この企画当初、そもそも病棟の館内放送では音楽を流すこと自体が難しかったことです。緊急用の館内放送はあるものの、病棟ごとに特定の時間に音楽を流す設備が整ってなかった。ラジカセを館内放送用のマイクに近づけて流そう、なんていうアイデアもありました。ちょうど新病棟が出来るタイミングでもあったので、業者の方に相談しながらなんとか実現することができました。」

実際に音楽を流してみようでしたか？

「喜んでいただける方も多かったのですが、全ての方に喜んでいただけたわけではありません。音楽も人それぞれに好みがありますし、特に音のボリュームなんかも気になる人がいたり。箱根病院は生活の場でもありますので、テレビを見たり、人と話したり、寝ていたり人によって何をしているか

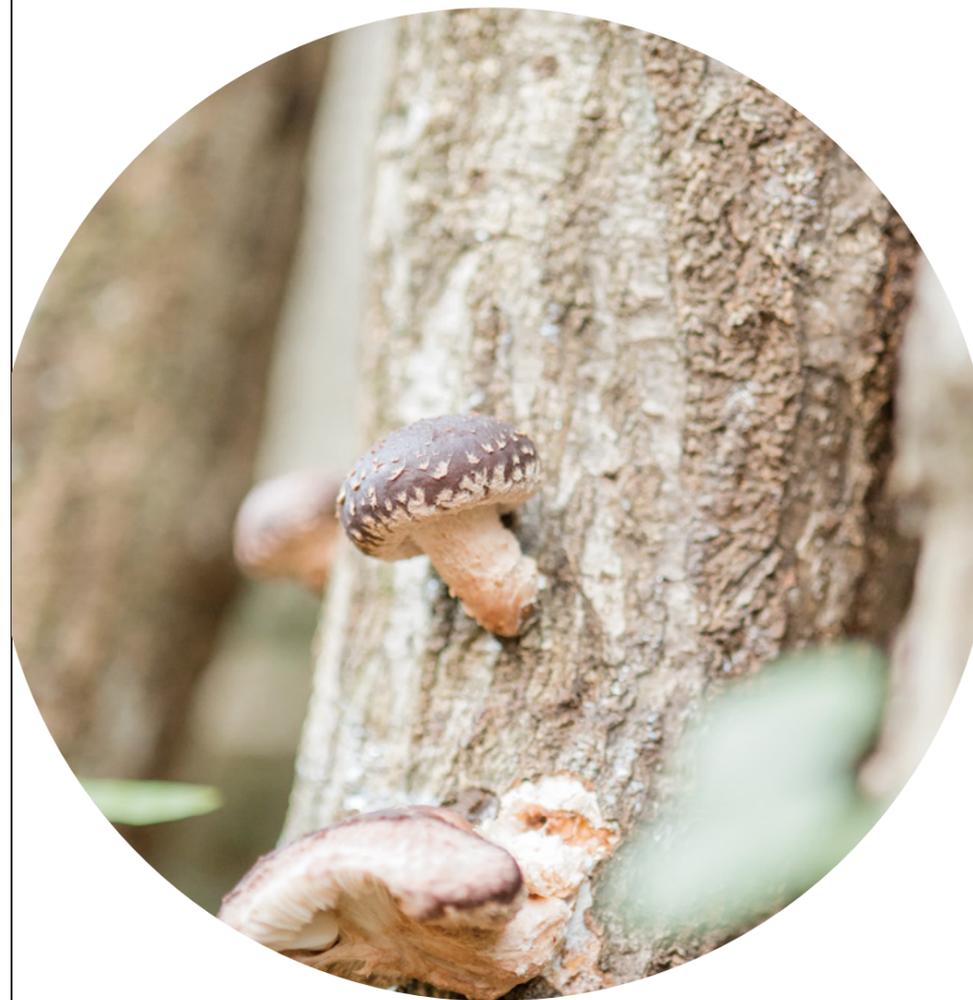
は様々。アンケートを取りながら、病棟ごとに音量を変え、曲を変え、何度も改善を重ねて今の形になっています。」

箱根病院で過ごす人たちの声を丁寧に汲み取り、啓蒙活動なども積極的に行いながらようやく多くの方々に楽しんでいただけるようになったのです。

箱根病院に来た時にはぜひ、音楽を楽しんでみてください。



【放送スケジュール】	
第1回	08:00~08:30
第2回	16:45~17:15
第3回	19:45~20:00



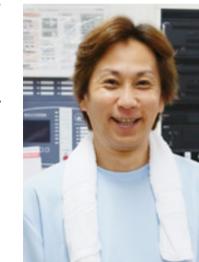
The Scene
N°02

みんなでしいたけ栽培を楽しむ



真冬のしいたけ 1000本ノック！

大雪が2度も降った2014年の冬。寒空の中、しいたけ栽培イベントを開催。穴をあけた原木にしいたけの菌種を打ち込むイベントです。患者さんや病院スタッフが参加し、ハンマーを使って黙々と菌種を原木に打ち込むこと、その数1000個。途方も無い数に思えますが、みんなで楽しみながらやればあっという間の数。普段なかなかできない体験に「地味な作業だけど楽しかった」なんていう声もあり仕掛け人の一人、田辺看護師もほっと一安心だったようです。しかしその後がなかなか大変でした・・・。



田辺看護師



SHIITAKE'S JOURNEY

しいたけが食卓に並ぶまで



2014
2月

しいたけ栽培イベント開催



2015
5月



土の上に置いたほうがよくでるといふ噂を聞きつけ原木の大移動です。

2015
4月



2個目を観測！なかなか沢山は生えてきません…

2015
3月



しいたけを1個初観測！
やった～！！

2015
10月



22個生えてきました！これようやく患者さんに楽しんでいただけそう。

2015
11月



栄養科と放射線科にて、しいたけをチェックし、患者さんの食卓へ。「おいしかった」という声を頂いて苦労したかいがありました。

The Scene
N°03
創作活動を楽しむ

院内を歩いていると個性豊かな絵画に目を奪われます。病院のいたるところで等間隔に展示され、病院全体がさながらアートギャラリー。感性豊かに描かれた絵画の多くは難病と共生する患者さんの作品です。療育棟にある絵画スペースを覗くと、キャンバスに向かう患者さんの姿が。もくもくと創作活動を行うその顔は真剣そのものです。今回はそんな患者さんの作品の一部を編集部の独断と偏見でピックアップしてご紹介。この他にも沢山の作品が展示されていますので、箱根病院に来た際は絵画にもぜひ注目してください。



Information

箱根病院風祭展

日程：2016年6月9日(木)～6月13日(月)
開催場所：飛鳥画廊
住所：神奈川県小田原市栄町2-13-12
電話番号：0465-24-2411

主催 風祭展運営委員会
後援 国立病院機構 箱根病院
協賛 飛鳥画廊

箱根病院を支えるスタッフたち。
彼らがどんなことを考え、どんな未来を見据えて
仕事に取り組んでいるのか、その思いを聞きました。

PEOPLE

～ 箱根病院を支える人々～

PEOPLE-001

とりの ちひろ
鳥居 千裕

PROFILE

医療社会事業専門員(相談員)。相談員の仕事だけでなく、積極的に患者さんが楽しめるイベント企画を行う一人。趣味は野球観戦。生粋の広島カープファンで年間25回程度野球観戦へ。
ひとこと:一緒に広島カープの試合観戦に行きましょう!

1日1回患者さんを笑顔に

箱根病院の相談員として仕事だけでなく、患者さん楽しんで頂けるイベントを開催するなど、様々な企画を仕掛けるプロデューサーの一人としても活躍する鳥居さん。その積極的な姿勢の根底にある思いについて語ってもらいます。

鳥居さんの仕事について教えてください。

「患者さんの入退院の調整をしています。例えば、患者さんが退院するときには、入院前にできていたことができなくなっています。なので、退院後問題なく生活するためには、ヘルパーさんや訪問看護師さん等、地域みなさんに協力して頂く必要があるんです。そういった患者さんと関わってくれる人と箱根病院のスタッフとをつないで、情報共有や段取りをするための調整役をやっています。」

鳥居さんは相談員の仕事の他に積極的にイベントの企画などされていますね?

「はい。箱根病院の患者さんは長期間入院されている方

が多いんですが、僕たちができることって実はすごく限られているんです。患者さんに「気持ちわかります」といっても本当の意味でわかることは難しい。それならせめて自分がいるときには1日1回患者さんに笑ってもらいたい。イベント等も患者さんに喜んでもらえたらという思いで企画しています。」

昨秋の「心魂プロジェクト」は大成功だったですね。

「はい。患者さんが泣いていた姿に、僕も泣きそうになるくらいでした。演者の寺田さんは「歌を歌うではなくて心を歌う」とおっしゃっていましたが、純粋に患者さんと向きあっているのが、その思いが伝わったんだと思います。イベントをやるにしても患者さんの大切な時間を使う事になります。日頃から当院でボランティア活動をして頂いている皆様も、今回のようなプロの方もいつも質の高い場を作って頂き感謝しています。今後も患者さんに喜んでもらえるような場を様々な方々と作っていきたくと思っています。」

今後の鳥居さんの展望を聞かせてください。

「1日1回患者さんに笑ってもらう。その延長線上。まだまだやりきれないと思っているので、もっと積極的に患者さんのためになることをやっていきたい。箱根病院にいるスタッフもみんな同じ思いをもっているんじゃないかな。やっぱりどこかしら限界があって、どうすればもっと患者さんのためになるんだろうって模索していると思うんです。僕も所属している「箱根病院イノベーションチーム」から色々仕掛けていって、みんなを巻き込んでいけるようになれるといいですね。」

PEOPLE-002

かとう ともき
加藤 友記

PROFILE

理学療法士。箱根病院の様々な企画を推進するHIT(箱根病院イノベーションチーム)の中心的存在。子供の起きている時間に帰宅することを心がけるやさしいパパの一面も。
ひとこと:気軽にリハビリ室にきてください!

どんな患者さんを前にしても 対応できる人になりたい

理学療法士として8年目をむかえた加藤さん。患者さんにできることを増やすために学び続ける彼の目線の先に見える世界とは・・・?

加藤さんの仕事について教えてください。

「患者さんの生活を身体の機能面から支えていく仕事をしています。同じご病気の方でも、患者さん一人ひとりによって、機能障害が異なります。筋力、体力、もちろん性格だって様々です。患者さんが自分らしく生活できるように、家屋環境や家族の介護負担、病気のことも含めて、その人にとっての障害をしっかりと把握してリハビリ内容を組み立てていく。その人らしさを模索しながら、その時々々の生活に合わせた支援をしていきたいと思っています。」

箱根病院は難病医療に邁進していますが理学療法の特徴は何かですか。

「はい、箱根病院の特徴である難病医療は、政策医療のひとつとして高い専門性が求められます。理学療法士は呼吸障害に深く関わりますが、学校でもあまり習うことがありません。ですから、最初はとても戸惑いました。また、難治性の病気では、患者さんの心の持ちようも、医療の在り方も全く異なるので、院内・外の勉強会へ積極的に参加して、専門的な知識と技術を習得してきました。」

技術や知識を習得するという観点から箱根病院の環境はどうですか?

「とても良い環境です。箱根病院は医師や看護部との距離が近いので、他の病院と比べて、話しやすく連携しやすい。色々教えてもらうことが出来ます。院長先生にも気軽に相談できますし、学術論文の指導をしてもらったこともあります(笑)。こんな病院はなかなか無いですよ。研究者としても素晴らしい方たちが身近にたくさん働いていらっしゃるの、学ぶ環境としては素晴らしいところだと思います。学んだことをしっかり患者さんに還元していきたいです。」

今後の加藤さんのビジョンを教えてください。

「どんな患者さんを目の前にしても対応できる人になりたいと思っています。この疾患はわかる、わからないではなくて、どんな疾患でも担当できる人。身近な人が病気になっても自信を持ってリハビリをしますと言えるようになりたい。そのために一つ一つの仕事を丁寧にやりながら専門性を高めつつ、幅広い仕事ができるようにこれからも学び続けていきたいと思っています。」

HAKONE HOSPITAL

News

— 箱根病院ニュース —

クリスマスコンサート&ケーキ会食

12月16日、石崎恵子様、露木恵子様、阪野由衣様の歌とピアノによるクリスマスコンサートが開催されました。オープニング曲『サンタがやってくる』が始まると、会場は一気にクリスマスムード満点に!!その後もクリスマスメドレーが続き、そして『花は咲く』等のリクエスト曲へと演奏が続きました。会場の皆さんは、一緒に歌を歌ったり、歌に合わせて手や楽器でリズムをとったりと楽しそうな様子。わくわくする気持ちが伝わってくる笑顔いっぱいのコンサートとなりました。

コンサート後は、各病棟で患者さんお楽しみのケーキ会食が行われました。「甘さが控えめでおいしかった」「おいしくてすぐに食べちゃった」との感想が多く聞かれました。出演者の皆様をはじめ、コンサート並びにケーキ会食の実施にご協力いただいた関係職種の方々に、この場を借りて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



箱根茶屋を開催しました

10月23日第1回「箱根茶屋」を開催し、多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。この「箱根茶屋」の目的は介護されている方々(ケアラー)の交流の場、息抜きの場としており、対象は難病患者さんを在宅介護していらっしゃるご家族の方です。

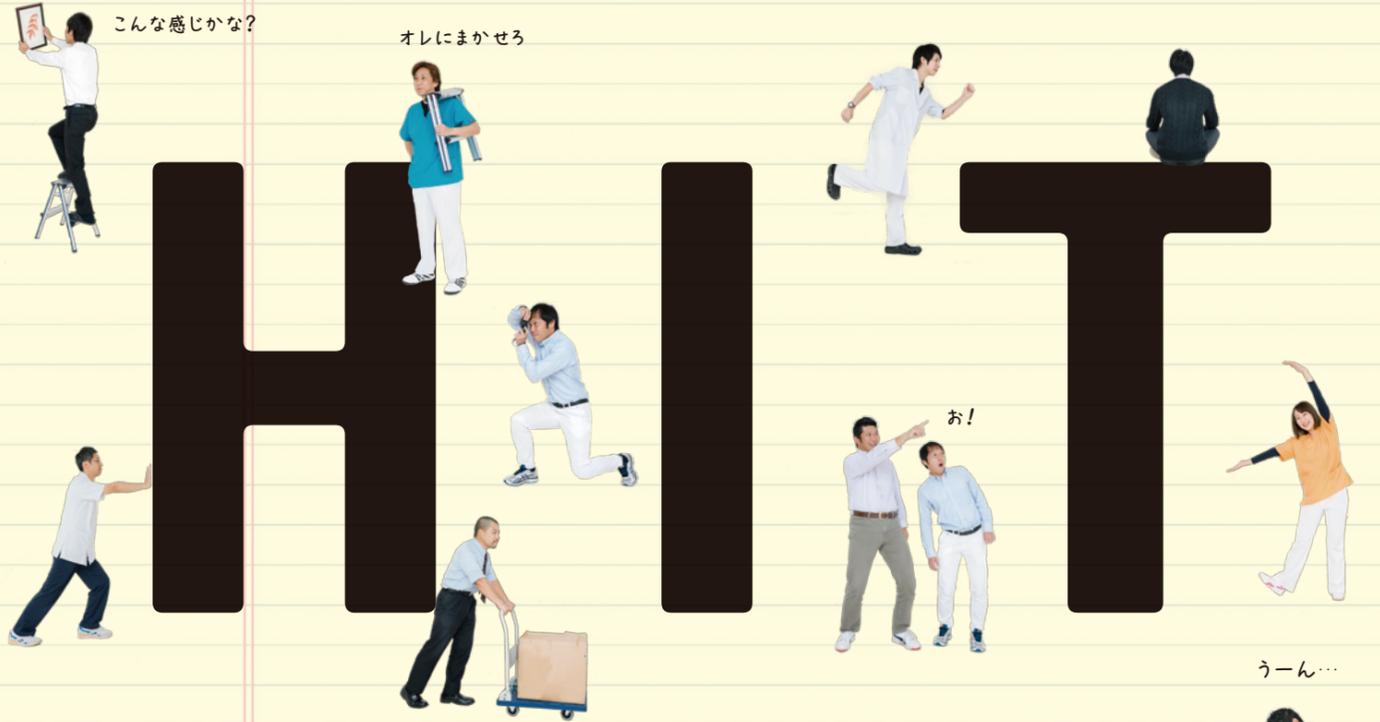
私たちが初めての取り組みのため、手探り状態での開催でしたが、「心の交流ができた」「勇気づけられた」「今後が楽しみ」というご感想を頂き、盛況のうちに会を終えることができました。尚、第2回も開催を予定しています。



箱根病院公開講座

12月9日、『認知症予防』をテーマにリハビリテーションの視点から講座を実施しました。認知症予防は日々の健康維持と共通点が多く、心身共に健やかに過ごされる事でより予防できる可能性があるということ、実際にトレーニングも交えながら、お伝えさせていただきました。

このような講義機会を頂く事で今後も地域の方々をはじめ多くの方に気軽に相談頂ける病院でありたいと思っております。



Hakone Hospital Innovation Team=HIT

箱根病院の理想を追い求める集団

箱根病院には、患者さんや職員、箱根病院で過ごす全ての人たちがイキイキと生きることができる、安らぎを感じることができる病院を目指して、悪戦苦闘しながらも日々考え、智恵を出しあい理想の病院づくりに本気で取り組んでいるチームがいます。

HIT!

リラックス♪

HIT HISTORY

- 2013年 2月 HIT始動。理想の病院とはどんな病院か、議論がはじまりました。
- 9月 箱根病院これから作っていききたい理想のシーンを46個作成! シーンを現実にするための企画に着手!
- 12月 病棟に音楽を流す企画実施、院内の飾り付け企画実施
- 2014年 2月 しいたけイベント実施
- よりよい企画をつくっていくために試行錯誤...
- 6月 新メンバーが参加 (10数名から40人弱へ)
- 2015年 10月 心魂プロジェクト実施
- 11月 理想のシーン64個追加作成! またまたシーンを現実にするための企画着手!



理想の病院とは...



まだまだ続く...

勇気を持って、一歩前へ。

皆様、平成28年を新たな心で迎えられたことと存じます。

箱根病院は、神経筋・難病医療センターとなって5年目を迎えました。

今年は、難病法に基づいた医療の提供や医療と福祉の補完を一層進めて、

新たなステージを目指す年になります。これからの神経難病医療を考えると、

在宅における患者さんたちの支援を欠くことはできません。

そこで、箱根病院では、訪問看護を先駆けとして院外における難病医療への

貢献に歩みを進めます。これまで、院内で培ってきた「いのち輝く、癒しの病院」の

コンセプトを維持しつつ活動の輪を広げていくことができるか、

力量が問われる年でもあります。

新年を記して発刊した新たなQUARTERLY MAGAZINEでは、

箱根病院のありのままの姿と箱根病院職員がともに目指していく

頂上(いただき)への歩みをお届けします。

患者さんご家族にも、職員とその家族にも、改めて病院の魅力を

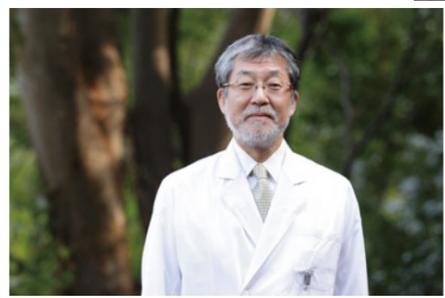
発見してもらえたいと思います。そして、このMAGAZINEを通じて、

院外の皆様が箱根病院のファンとなり仲間となってくださって、

我々の歩みにご参加たまわれることを願っております。

箱根病院 神経筋・難病医療センター 院長

小森 哲夫



【行事】

2月26日(金)13時30分～ 第2回ケアラーズカフェ

盛会となった第1回目につき、第2回「患者・ケアラー会 箱根茶屋～明日のために今日は一息～」を2月に開催します。介護されている方々(ケアラー)の息抜きの場、交流の場としてプログラムをご用意しております、お気軽にご参加ください。

3月9日(水)14時～ 公開講座

地域に根ざす箱根病院の活動をお知らせし、職員の持つ知識や能力をお伝えすることを通じてお役に立てるよう多彩な内容の講演や実技をお届けしています。参加費は無料ですのでお気軽にご参加下さい。次回の公開講座の内容についてはホームページにて詳細をお伝えいたします。



【交通案内】

自動車利用の場合

1. 小田原厚木道路、または西湘バイパス等を利用の場合

箱根口インターチェンジで降りて最初の信号「風祭」を右折し、次の信号「風祭駅入り口」を左折

2. 国道1号線を利用の場合

「風祭駅入り口」の信号を、小田原方面からは右折、箱根湯本方面からは左折

鉄道利用の場合

JR東海道線、東海道新幹線または小田急線小田原駅乗り換え、箱根登山線風祭駅下車、徒歩2分。(駅より病院正門まで約40m)

【外来診療】

外来診療受付時間:平日8:30～11:30

※外来診療は原則として予約制です。

予約受付電話番号:0465-22-8731

予約受付時間:平日14:00～17:00

【採用情報】 <http://hakonehosp.com/>

私たちは共に「いのち輝く、癒しの病院」づくりを行っていく仲間を求めています。採用に関する詳しい情報はホームページの職員募集を御覧ください。

編集後記

「いのち輝く、癒しの病院」づくりに向けた、箱根病院の「いま」と「これから」を伝える季刊誌、「QUARTERLY MAGAZINE HAKONE HOSPITAL」がいよいよ創刊しました。箱根病院には、一人ひとりが輝く場でありたいという願いがあります。記念すべき創刊号の表紙は、そんな想いを表現してくれているような、笑顔が素敵なお仲良し看護師さん2人組。こんな弾けんばかりの笑顔が箱根病院中で溢れると素敵ですね。撮影にご協力いただいた方々、お忙しい中ありがとうございました。この季刊誌では次々と生まれてくる箱根病院の新しい取り組みやシーンを紹介していきますので、ぜひ今後もご注目ください。